

日本河川・流域再生ネットワーク <http://www.a-rr.net/jp/>  <https://www.facebook.com/JapanRRN>

「日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)」は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク (ARRN) の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。

目次	Pages
➤ JRRN 事務局からのお知らせ	1
➤ 会員寄稿記事	4
➤ JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ	5
➤ 会議・イベント案内 & 書籍等の紹介	6

JRRN 事務局からのお知らせ (1) JRRN Activity Report

小さな自然再生普及プロジェクトー『第7回「小さな自然再生」現地研修会 in 岡山県西栗倉村・吉井川流域 (12月6-7日)』開催案内 参加申込受付中 (12/1〆切)

本年度2回目となる、「小さな自然再生」の普及促進に向けた現地研修会を、12月6日(水)～7日(木)、岡山県西栗倉村・吉井川流域で開催致します。

研修会としては初となる2日間の行程で、岡山県西栗倉村を拠点に人と自然の共生を目指して活動展開するエーゼロ(株): <http://a-zero.co.jp/> のご協力を得て、河口から源流地域までをバスで視察した後、『吉井川のつながりを取り戻すには小さな自然再生で何かで

きるか?』をテーマに、座学、ワークショップ、現地討議を行う、有意義な研修内容となっています。

本研修会の参加申込みは、以下の JRRN ホームページをご覧ください。(12/1 申込〆切、40名先着順です) でお早めに。宿手配等の詳細は案内チラシを確認。)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/info/841.html>

なお、本活動は(公財)河川財団の河川基金の助成を受けて実施しています。(JRRN 事務局・後藤勝洋)

第7回「小さな自然再生」現地研修会 岡山県西栗倉村・吉井川流域

- 日時: 平成29年12月6日(水) 10:00～18:00 - 7日(木) 9:00～12:30
- 主催: 「小さな自然再生」研究会
- 共催: エーゼロ株式会社、応用生態工学会(大阪地区会、岡山地区会)、JRRN
- 会場: 岡山県西栗倉村 <座学: エーゼロ株式会社(旧影石小学校) / 現地: 吉井川流域>
- 定員: 40名(先着順です)
- 参加費: 無料(食事代、宿泊費は各自負担)
- プログラム: ※土木学会認定 CPD プログラム

12月6日(水) (10:00) 岡山駅集合

- 吉井川流域現地視察 ～河口から源流地域(西栗倉村)まで、バスで移動
- エーゼロ株式会社の取り組み紹介
- 「小さな自然再生」に関する座学研修
 - 小さな自然再生のすすめ(三橋弘宗: 兵庫県立大学自然・環境科学研究所)
 - 事例紹介「安価に川をつなぐときの注意点」(浜野龍夫、徳島大学大学院)
 - 事例紹介「多主体協働による琵琶湖固有種ビワマス産卵・遡上環境再生の取り組み」(佐藤祐一、滋賀県琵琶湖環境科学センター)
- 意見交換 ～現地視察を踏まえて課題の洗い出し

12月7日(木) (8:50) エーゼロ株式会社(旧影石小学校)集合

- ワークショップ 『吉井川のつながりを取り戻すには小さな自然再生で何かできるか?』
- 現地研修 ～ワークショップの成果を現地で確認します



吉井川水系吉野川(西栗倉村)

エーゼロ株式会社の取り組み(ウナギの養殖)

JRRN 事務局からのお知らせ (2) JRRN Activity Report

小さな自然再生普及プロジェクトー 『第6回「小さな自然再生」現地研修会 in 福井・日野川/志津川 (10月17日)』 開催報告



開会挨拶（兵庫県立大学・三橋弘宗先生）



フィールドワークショップ

2017年10月17日（火）、今年度の初回となる『第6回「小さな自然再生」現地研修会』を福井県福井市の九頭竜川水系日野川／志津川にて開催致しました。

地元及び関西圏や遠方よりお越しの市民団体、実務者、研究者、学生、行政関係者、「小さな自然再生」研究会メンバーなど計66名が参加し、「**魚類の遡上環境の改善～九頭竜川流域の連続性確保に向けて～**」をテーマに、午前の座学と午後のフィールド＆室内ワークショップの充実した一日を過ごしました。

【日時】2017年10月17日（火）9:30～17:00

【主催】「小さな自然再生」研究会

【共催】国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所、福井県、日本河川・流域再生ネットワーク

【会場】福井県福井市

- ・座学：（一財）福井県教育センター大ホール
- ・現地：九頭竜川水系 日野川・志津川

【プログラム】

（午前）会議室にて小さな自然再生の座学研修

- 小さな自然再生のすすめ
（三橋弘宗：兵庫県立大学 自然・環境科学研究所）
- 事例紹介『川人を繋ぎ育む小わざ魚道』
（浜野龍夫：徳島大学大学院）
- 事例紹介『竹蛇籠で魚道を作ってみた：住民モニタリングと遡上効果』
（山下慎吾：Sakanayama Lab./高知工科大学）
- 地元の取組み紹介『天王川における連続性確保に向けた魚道整備』（前川圭輔：福井県河川課）
- 地元の取組み紹介『九頭竜川水系のグリーンインフラ的取組み』（中村圭吾：国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所 事務所長）

（午後1）日野川・志津川現地研修

（午後2）ワークショップ

- 「魚類の遡上環境の改善～九頭竜川流域の連続性確保に向けて～」(ファシリテーター：三橋弘宗：兵庫県立大学 自然・環境科学研究所)
- グループ討議： 全参加者でアイデア出し討議
 - 全体討議： 各グループアイデアについて討議



室内ワークショップ（班別討議）

本研修会にご協力頂きました関係者皆様、どうもありがとうございました。研修会の詳しい成果報告は、年内を目標に改めてご紹介させていただきます。

※本研修会は、公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けて開催致しました。

(JRRN 事務局・和田彰)



アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN) 会長就任のご挨拶

私は ARRN の会長に就任致しました、リバーフロント研究所代表理事の金尾健司です。

はじめに、ARRN のメンバーの皆様、並びに関係者の皆様のご支援のもと ARRN の活動を行うことができ、深く感謝申し上げます。また、これまでに会長を務められた玉井信行先生、Ziping Liu 先生、Suk Hwan Jang 先生のご尽力に敬意を表します。

この ARRN の活動は、人々の出会いと誇りに支えられた良好な河川の保全・再生が創り出す健全な水循環系及び歴史・文化と共存する地域社会の実現を目指します。その成果として、アジア・モンスーン地域に相応しい河川再生の方法論を確立すること、その際には、高い人口密度、頻発する水災害、豊かな水田などアジアの特徴を前提としなければならないと考えています。アジアの歴史・文化的土壌は人間活動と自然との調和であり、長年の人間活動により形成された風土は、文化と同様に自然にとっても重要であります。

私たちは類似した自然・社会環境を保有するアジア・モンスーン地域として、河川再生の技術を構築することが緊急の課題だと考えています。そのためにはこの ARRN がアジアにおける河川再生の担い手の出会いの広場として、連携基盤の役割を担わなければならないと考えます。今後、ARRN は河川再生を担う様々な人々（市民、実務者、行政関係者、学識者、企業等）が幅広く参加し、それぞれが適切な役割分担のもと、河川再生に関わる新たな技術体系、事業、提言、意識共有を創り出す場を提供します。

そのためには各国内外の河川再生に関する優れた事例、知見、技術、人材、仕組み等の信頼度の高い情報を蓄積し、参加者で共有する仕組みを整備します。

最後に私は河川の再生は、治水や利水と同じく、人類の存続に不可欠であると考えます。

今後とも、河川・流域再生技術に関する情報共有が広がるよう、ARRN の積極的な活動を進めていきたいと考えております。引き続き皆さまのご理解とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



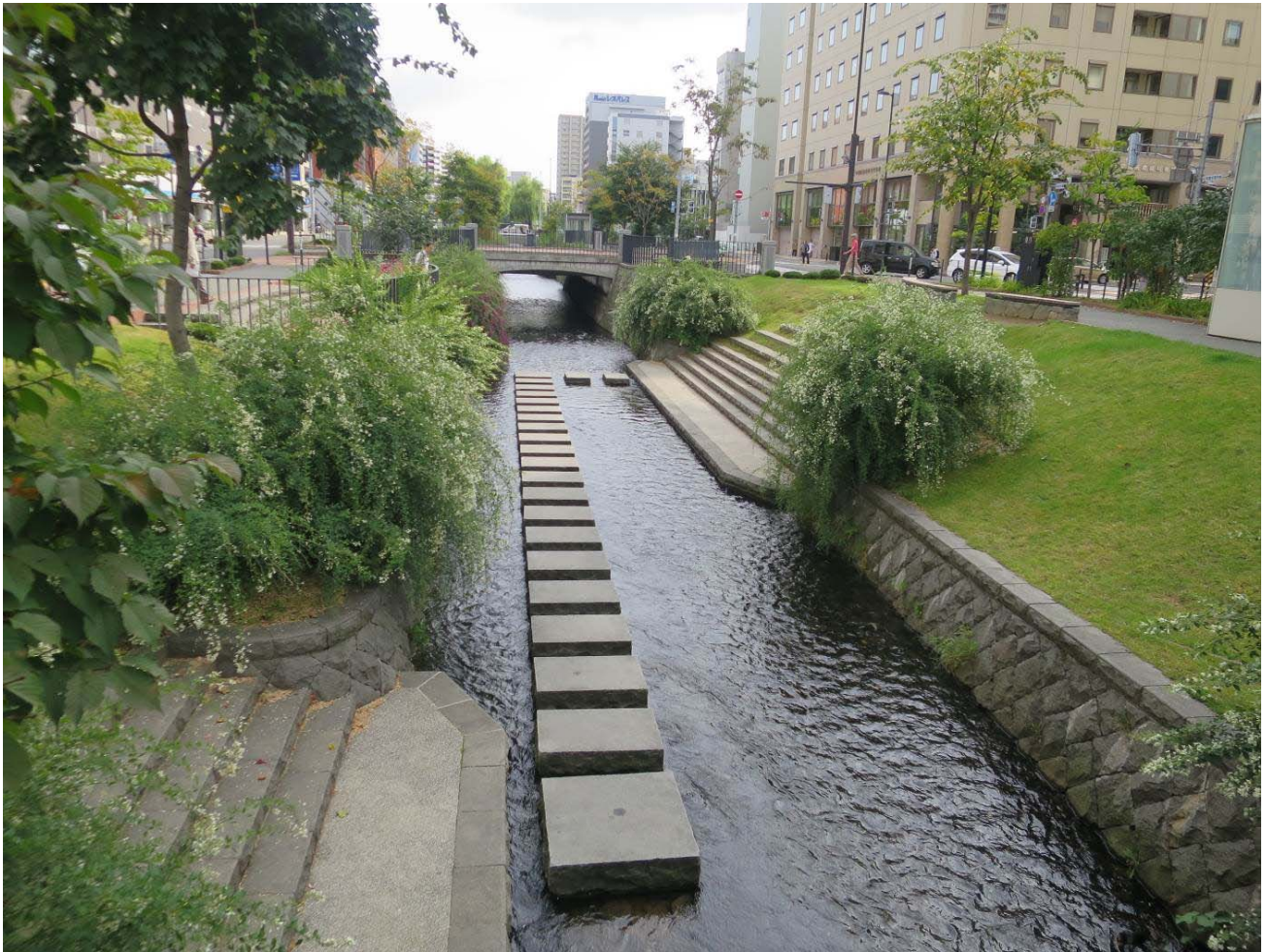
アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN) 会長
公益財団法人リバーフロント研究所 代表理事
金尾 健司

水辺からのメッセージ No.102

岡村幸二 (JRRN 会員)

創成川公園：

両側の道路を地下化して札幌の新しい緑の回廊に



撮影：2017年10月（北海道札幌市・創成川）

◆開拓の歴史を伝える川に

創成川は札幌村開墾のために開削された用水路で、幕末の1886年に、二宮尊徳から開墾の作法を学んだ弟子の大友亀太郎によって開かれた「大友掘り」が前身です。1871年（明治4年）には、南1条に設置された木橋が「創成橋」と呼ばれ、その下を流れる川を「創成川」と名付けました。

◆市民団体から創成川のアメニティ回復の声が

2001年から「創成川交通対策勉強会」がスタート、市民1000人ワークショップを積み重ね、「創成川アンダーパス連続化事業」により通過交通はトンネルを通り、地上部が水辺公園となりました。

 JRRN 会員皆様からの寄稿記事を募集しています！

旅先で見かけた水辺の風景や思い、水辺再生に関わる様々な活動報告、また河川環境再生に役立つ技術等、JRRN 団体・個人会員皆様からの寄稿記事をお待ちしています。（JRRN 事務局）

JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ (2017年10月末まで提供分) Information from member

【JRRN 会員からの提供情報】

■ 第 17 回九州「川」のワークショップ in 大野川
(11/11-12 開催)

古賀河川図書館より本年の九州「川」のワークショップのご案内です。

■日時：2017年11月11日(土)～12日(日)

■場所：ホクトホール大分 3階大会議室 (大分県大分市)

■参加費：無料

◆詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/2905.html>



【JRRN 会員からの提供情報】

■ 第 20 回河川生態学術研究発表会 (11/20 開催)

公益財団法人リバーフロント研究所より「第 20 回河川生態学術研究発表会」のご案内です。

■日時：2017年11月20日(月) 10:30～17:00

■場所：浜離宮朝日ホール 小ホール (東京都中央区)

■参加費：無料

◆詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/2879.html>



【JRRN 会員からの提供情報】

■ 第 14 回柿田川シンポジウム (11/4 開催)

公益財団法人リバーフロント研究所より、本年の「柿田川シンポジウム」のご案内です。

■日時：2017年11月4日(土) 13:00～16:00

■場所：三島商工会議所 TMO ホール (静岡県三島市)

■主催：柿田川生態系研究会

■参加費：無料

◆詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/2921.html>



【JRRN 会員からの提供情報】

■ ～みんなで活かそう町の川～神崎川上流と八幡溜を歩いてみよう 2017 (11/23 開催)

「神崎川を守るしろい八幡溜の会」より千葉で開催される地域イベントのご案内です。

■日時：2017年11月23日 (祝・木) 12:30～16:30

■場所：プラザ西白井 1 番街集会所前 (千葉県白井市)

■参加費：無料

◆詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/2917.html>



【JRRN 会員からの提供情報】

■ 第 195 回 河川文化を語る会「水の都・大阪の再生のために 新作品『水の輪』 (11/21 開催)

公益社団法人日本河川協会様より河川文化を語る会の開催案内です。

■日時：2016年11月21日(火) 18:30～20:30

■場所：エル・おおさか 6 F (大阪市中央区)

■参加費：無料

◆詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/2927.html>



【海外からの提供情報】

■ 「RRC (英国河川再生センター) 最新ニュースレター」ご紹介

RRC (英国河川再生センター) の最新会報 (2017 年 10 月号) が事務局より届きました。

本号では、RRC 主催の現地研修行事開催と報告、欧州河川再生データベース: RiverWiki の事例投稿案内などが紹介されています。

◆詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/2930.html>



会議・イベント案内 (2017年11月以降)

Event Information

(国内の河川・流域再生に関する主なイベント)

※前頁でご案内した行事も一部含みます

■第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦2018)プレ会議

○日時: 2017年11月1日(水) 13:30~17:00

○主催: 茨城県

○場所: つくば国際会議場 多目的ホール(茨城県つくば市)

<http://jp.a-rr.net/jp/>

■ダム貯水池の水環境に関する現状と将来(第2回) in 松江

○日時: 2017年11月7日(火) 13:30~17:30

○主催: 応用生態工学会 広島

○場所: 松江テルサ 大会議室(島根県松江市)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/2663.html>

■第17回九州「川」のワークショップ in 大野川

○日時: 2017年11月11日(土)~12日(日)

○主催: 第17回九州「川」のワークショップ in 大野川実行委員会

○場所: ホクトホール大分 3階大会議室(大分県大分市)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/2674.html>

■第195回 河川文化を語る会:水の都・大阪の再生ために

○日時: 2017年11月21日(火) 18:30~20:30

○主催: 公益社団法人日本河川協会

○場所: エル・おおさか6F(大阪市中央区)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/2685.html>

■神崎川上流と八幡溜を歩いてみよう2017

○日時: 2017年11月23日(祝・木) 12:30~16:30

○主催: 神崎川を守るしろい八幡溜の会

○場所: ブラザ西白井 1番街集会所前(千葉県白井市)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/2681.html>

■第7回「小さな自然再生」現地研修会 in 岡山県西栗倉村

○日時: 2017年12月6日(水)~7日(木)

○主催: 「小さな自然再生」研究会

○場所: エーゼロ株式会社(岡山県英田郡西栗倉村)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/info/841.html>

■第10回やまなし農業・農村シンポジウム

○日時: 2017年12月16日(土) 13:00~16:30

○主催: 山梨県農政部耕地課

○場所: 東京エレクトロン韮崎文化ホール(山梨県韮崎市)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/2676.html>

■第十三回「外来魚情報交換会」

○日時: 2018年1月27日(土)~28日(日)

○主催: 琵琶湖を戻す会

○場所: 草津市立まちづくりセンター(滋賀県草津市)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/2679.html>

書籍等の紹介

Publications

■水辺の小さな自然再生~あなたもはじめてみませんか?
(2017.3発行)

・発行: 「小さな自然再生」研究会/日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)

・発行年月: 2017年3月

・ページ数: 16ページ



水辺でできる小さな自然再生の更なる普及促進を目的に、小さな自然再生の概要や取組む際の留意点、また「小さな自然再生」研究会による普及促進活動を紹介した簡易冊子です。

■河川モニタリング活動事例集~できることから始めよう
市民による河川環境の評価~(2014.3発刊)

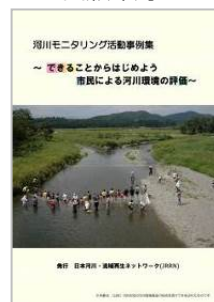
・監修: 白川直樹 筑波大学准教授(JRRN 理事)

・執筆協力: 河川再生に携わる市民団体や行政機関

・編集: JRRN 事務局、筑波大学白川(直)研究室

・発行: 日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)

・出版年月: 2014年3月



市民が主体的に取組む河川環境のモニタリング活動の実態を調べ、各地のモニタリング活動事例や市民による河川モニタリング活動の更なる活性化に向けたヒントを紹介しています。

■上記冊子の「印刷製本版」入手方法

※PDF版はこちらから: <http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/>

JRRN 事務局までご連絡ください。送料のみご負担頂いた上で、無料で提供致します。(JRRN 会員限定)

JRRN 会員募集中 JRRN membership

■ JRRN の登録資格 (団体・個人)

JRRN への登録は、団体・個人を問わず**無料**です。市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、河川再生に携わる皆様のご参加を歓迎いたします。

■ 会員の特典

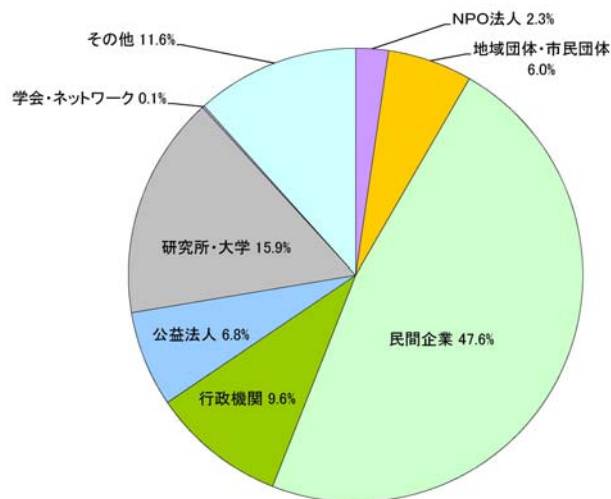
会員登録をされた方々へ、様々な「会員の特典」をご用意しています。

- (1) 国内外の河川再生に関するニュースを集約した「JRRN ニュースメール」が週1回メール配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加することが出来ます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。

■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.a-rr.net/jp/member/registration.html>



2017年10月31日時点の個人会員の所属構成

(個人会員数: 766名、団体会員数: 60団体)

※10月の新規入会数: 個人会員 1, 団体会員 0

JRRN 会員特典一覧表 (団体会員・個人会員)

提供サービス	JRRN 個人会員	JRRN 団体会員	非会員 (一般)
1 ホームページへのアクセス及び記事へのコメント入力 ※1	◎	◎	◎
2 ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載 ※2	◎	◎	◎
3 ニュースメール(週1回)の配信 ※3	◎	◎	×
4 Newsletter(毎月)及び年次報告書(年1回)等の発刊案内メールの配信 ※3	◎	◎	×
5 JRRN/ARRN主催行事の優先案内・優先参加 ※4	◎	◎	×
6 国内外の河川再生関連情報・技術収集や専門家・組織紹介の支援 ※5	◎	◎	×
7 ホームページ「会員からのお知らせ」内及びニュースメール「会員からのご案内」欄で団体が関わる行事・出版物・製品等の案内の掲載 ※6	△※7	◎	×
8 ホームページ「会員登録状況」「国内団体」内及び年次報告書内で団体名の掲載	×	◎	×
9 ARRAN活動に関連する英語ニュース(ARRN Newsletter等)の不定期配信 ※8	×	◎	×
10 JRRN及びARRNが保有する国内外専門家・団体等との連携等の支援 ※9	×	◎	×

会員特典詳細はウェブサイト参照: <http://www.a-rr.net/jp/member/benefit.html>

【お気軽にお問い合わせください】

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局



〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 NMF 茅場町ビル7階 (公財)リバーフロント研究所 内

Tel:03-6228-3865 Fax:03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net

URL: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>

JRRN 事務局は、「アジアにおける河川再生のためのネットワーク構築と活用に関する研究」の一環として、公益財団法人リバーフロント研究所と株式会社建設技術研究所国土文化研究所が公益を目的に運営を担っています。

